

# まちかど★ ネットワーク

## お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。  
広報広聴課 ☎51-0123 内線2822へお便りください。

### 市長への 手紙から

## 市営の霊園を つくってほしい

クリスマスチャンの池田さんは、キリスト教の教会には墓地が少ないので、納骨場所が見つからなくて困っていたとのこと。市営の霊園をつくってほしいと、お便りをいただきました。

#### へ市長への手紙から

私は、昨年夫を亡くしました。ところが、教会の墓地が少ないために、納骨場所が見つからなくて苦労しました。

市民の中には、仏教のお寺以外の墓地を希望している人も、多くいるのではないのでしょうか。

近隣の市では、既に市営霊園が設けられているとの話も聞きますが、富士市では、市営霊園をつくる計画はないのでしょうか。市民の希望を生かした霊園がつくられることを願っています。



池田美智子さん(中里)

#### へ市長の答え

市営霊園の建設についてのご意見ですが、池田さんと同じように「早く市営霊園をつくってほしい」と希望する人が、年々ふえています。そこで、市役所の中に市営霊園の建設検討委員会を設け、検討を進めています。

これまで、墓地に対する市民意識調査、市内の寺院墓地の実態調査、将来の墓地需要の検討や、霊園の建設場所の検討などを行ってきました。

その結果、五千基規模の霊園を市内大淵にある丸火少年自然の家の北東付近につくる計画を立てています。そして平成十年年度ごろ、工事に着手する予定です。

宗教を問うことなく、だれもが永久に先祖を供養するために使用できるよう、整然として、緑豊かな明るい雰囲気のある霊園にしたいと考えています。



ちゃっきり節  
日本一

しろ ぐち  
**城口優子さん**  
(松岡)



**第**八回「静岡ちゃっきり節日本一全国大会」で優勝した城口さん。実に五回目の挑戦で、プロ歌手の卵も含めた約二百八十人の中から初の日本一の栄冠をかち得ました。

「本当はすごく上がり症の私、最初は度胸試しのつもりで参加したんですが、やがて日本一になりたいと思いはじめました。練習にも力が入るようになりました。練習を積み重ねるほど、高音域の声が出るようになります。そして、こぶしが回り、声に張りが出るように

なるんです。練習を積み重ねれば積むほど成果が出るって、何事においても言えますよね」

**秋** 田出身の城口さんが、民謡を始めたのは、十五、六年前。民謡好きの人が多い東北に生まれ育っただけでなく、養父が、民謡の全国大会に何回も出場して優勝経験もあるほどの人だという影響もあるそうですが、城口さんが本格的に民謡を始めた理由は別にありました。

「実は、当時、一身上の事情があつて、無気力な日々を過ごしていました。けれど、『このままではいけない。もっと前向きに一生懸命生きなくっちゃ』と思うことにしたんです。そこで何か長く続けられる趣味はないかと思つて……。私つて民謡が大好きなんですよね。声が出なくなるまで歌い続けたいと思つています」

